

## ■本実証の概要

### 1 背景

デジタル臨時行政調査会は、アナログ規制について見直すべき関連法令等約1万条項を抽出し、「デジタル原則を踏まえたアナログ規制の見直しに係る工程表」（以下、工程表）を決定しました。規制を所管する府省庁（以下「所管府省庁」という。）においては、工程表に沿って令和6年6月までを目途に規制の見直しを実施することとしていますが、工程表に記載されている法令約1万条項には、所管府省庁がデジタル技術の活用可能性について安全性・実効性の観点で技術検証を必要とするものもあります。そのため、デジタル庁において技術検証のための予算を確保するとともに、所管府省庁及びアナログ規制の見直しを進める自治体（以下「所管府省庁等」という。）とも連携し、技術検証案件を類型化するなど、効率的に技術検証を実施することとされています。

（参考）テクノロジーマップの整備に向けた調査研究（アナログ規制の見直しに向けた技術実証等）における技術実証の公募について（<https://pubpjtmri.co.jp/publicoffer/20230616.html>）

### 2 実証の対象法令と概要

- ・大分県環境緑化条例第23条に係る特別保護樹木（樹林）の現地調査  
特別保護樹木や特別保護樹林の指定又は保全その他緑化に関し、貴重な樹木等の保護を図るため、樹木の状態（高さ、樹齢、幹回りの寸法等）や樹林を構成する樹種等について、現地に立ち入って調査しています。

### 3 役割分担及び実証概要

- ドローン調査【九州電力株式会社（九電ドローンサービス）】
  - ・ドローンによるレーザ測量及び写真測量を行い、樹高及び胸高直径、樹林の区域面積や占有率、立木密度等を計測
  - ・AI分析<sup>※1</sup>による樹種判定【Qsol株式会社】
  - ・NDVI解析<sup>※2</sup>による保護樹木の健康状態を確認
- IoTセンサー／IoTカメラによる調査【アイオーネイチャーラボ株式会社、MSR 合同会社】
  - ・IoTセンサーおよびIoTカメラで樹木／樹林の状態を把握
- GISデータ等解析・評価【株式会社セレス】
  - ・樹木／樹林の公表情報をGIS<sup>※3</sup>上で表示し、オーバレイ解析<sup>※4</sup>、バッファ解析<sup>※5</sup>を実施
- Web-GIS開発【株式会社プルスコンサルティング】
  - ・実証結果（ドローン調査、IoTセンサー／IoTカメラによる調査、GISデータ等解析）を一元的に表示するWeb-GISを開発

※1 森林資源の見える化サービス（2020年9月1日九州電力(株)プレス）にAI分析対象樹種を追加

※2 緑葉の波長特性を利用し、植生の活性度等を表す指標

※3 地理情報システムの略称。地理的なデータを収集・管理・分析・可視化するための技術

※4 複数のデータや情報を重ね合わせることで、新たな情報やパターンを抽出する解析方法

※5 データを一時的に保持するメモリ領域（バッファ）に格納し、一定の処理をする解析方法

### <参考> デジタル庁 報道発表資料

<https://www.digital.go.jp/policies/digital-extraordinary-administrative-research-committee/technology-verification/type6>